

兵庫縣漁業慣行錄

鹹水漁業之部

卷之八



兵庫縣漁業慣行録卷之八

鹹水漁業之部

播磨國加古郡

第一章

漁制

第一款

掟類

第一項

保護ニ關スル事

第二項

漁税ニ關スル事

東二見村

元禄三年ヨリ明治四年ニ至ル迄沖中運上トシテ年々
 銀札三貫三百二十八匁ヲ領主ヘ納メ明治四年藩ノ廢
 シ悉縣ヲ置カル、ニ及ンテモ尚其額ヲ納メシカ全年
 悉縣ヲ廢シ更ニ飾磨縣ヲ置カレシ以來ハ漁税網税ト
 シテ金十二圓八十錢六釐ヲ納メ今七年ヨリ廢税トナ
 レリ

兵庫縣

西二見村

文政二年ヨリ明治四年ニ至ル迄運上トシテ銀札七百
目ヲ納メタリ其以後ハ東二見村ニ全シ
古宮村

文化三年中東本莊村目今ハ東西ヲ合シテ漁業株主梅
谷七右衛門ハ借株料トシテ年々金十圓ヲ納ムルヲ約
定ヲ立テ之ヲ納メ来リシカ維新後ハ廢セリ
本莊村

寶曆四年以來運上トシテ金三圓ツ、本村魚問屋梅谷
七右衛門ヨリ納メ詳細ハ参考書如古維新後尚其額ヲ
納メ居リシカ明治七年ヨリ廢セリ但漁業者ヨリハ其
年ノ收獲高ニ應シテ今人ハ納メ居リタリ
別府村

明治二年本莊村ニ協議シ初メテ漁業ヲナセシニヨリ
別段漁税ヲ納メシナシ

高砂町

慶應三年ノ頃沖中運上トシテ銀札六百八十三匁此者魚
擔方ハ船持ニ平分シ船持ニヲ舊領主ハ納メ来レリ明
治五年飾磨縣ヲ置カレシ以後八年々金二圓十七錢三
釐ヲ魚税網税トシテ納メ今七年ヨリ廢税トナレリ

荒井村

鯰漁業ハ寛延四年頃ヨリ安政五年頃迄四艘張狩引網
ト唱ハ運上トシテ漁船小舟一艘ニ付銀札四文目尚ホ
狩子ト唱ハ投網船一艘ニ付銀札二匁宛ヲ納メシカ維
新後廢止トナレリ
坪網ハ維新後ノ創始ニ係リ鑑札料トシテ金二錢ヲ納

ノシカ明治十年頃以來不漁ニ付休業セリ

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ關スル事

高砂町

漁具 中高網ハ不良ノ漁具ニシテ他ノ小漁業ヲ妨害

スルニヨリ明治十四年本郡及飾東飾西印南揖東揖

西ノ諸郡沿海漁者申合セ其使用ヲ停止セリ規約書ハ参考

書印南郡第一号ニ掲載ス ○底立網ハ魚之レニ驚キ散逸シテ他

漁業者ノ妨害トナルヲ以テ十一月ヨリ翌年三月迄

使用ヲ停止ス ○四艘張ハ一月ヨリ五月上旬迄使用

ヲ停止ス蓋シ此間ハ漁者一統上流シ網ヲ使用スル

ニヨリ此時ニ當リテ該網ヲ用スル片ハ魚之レニ驚

キ皆散乱スルヲ以テナリ

該漁具ハ其數ニ疊上定ノ猥リニ増加スルヲ許サ

ス○鰯網モ亦其數二疊ト定メ安リニ増加スルヲ
許サス蓋シ該網ハ海底ノ苔藻ヲ取り去リ爲ニ鰯魚
ノ來ラサルヲ恐ルニヨル

漁法 鰯魚立網鰯立網使用ノ片ハ其塲ニ限リ一度叩
クフヲ許ス旨飾東郡外五郡沿海漁者ト規約セリ
書ハ参考書印南郡
第一号ニ掲載ス

荒井村

漁具 中高網使用停止ノ申合ハ高砂町ニ全シ

漁法 鰯魚立網鰯立網使用制限ノ規約高砂町ニ全シ

第二項 漁業ニ關スル事

第一節 漁權

東二見村

章魚漁塲ハ二ヶ所アリ一ハ明石郡林村江井嶋村及本

村ノ入會トス右廣狹ハ東ハ明石郡谷八木村ヨリ淡路
國津名郡岩屋浦ノ内江崎ヲ見通シ西ハ明石郡畷ヨリ
淡路國津名郡壱井村ノ内江井浦ヲ見通ス此間里程壹
里半又南ハ攝津一ノ谷山裾下淡路津名郡岩屋浦字松
尾鼻ト喰合見通シノ線ヲ限リ北ハ陸ヲ距ル八丁以外
トス此間ノ里程東端ニ於テハ貳里貳拾八丁西端ニ於
テハ四里壹丁トス但安永七年明石郡林村ト境界ノ争
論アリ舊幕府ノ裁判ニヨリ本文ノ如ク定メタルナリ
詳細ハ参考書加古
郡第一号ニ掲載ス○又一ハ東明石郡畷ヨリ淡路國江
井浦ヲ見通シ西本郡池田村ヨリ淡路國都志浦ヲ見通
ス此間里程壹里半南ハ前漁塲南端區域ト全一ノ線ヲ
見通シテ之レヲ限トシ北ハ陸ヲ距ル八丁以外トス此
間ノ里程東端ニテ四里壹丁西端ニテ五里拾丁ニシテ

西二見村ト入會ナリ鯉鱸鯨魚場ハニヶ所アリ一ハ明
 石郡山田村大藏谷村及本村ノ入會トス右廣狹ハ東明
 石郡谷八木村ヨリ西明石郡界ニ至ル其間里程壹里半
 ニシテ陸地ヨリ沖合ハ八丁ノ間トス又一ハ全郡界ヨ
 リ西ハ本郡池田村ニ至ル里程壹里半陸地ヨリ沖合ハ
 八丁ノ間ハ當村ノ專漁場ニシテ往古ヨリ連綿タリ○
 諸漁場前記載ノ諸ハ即チ前記各漁場ト同一ノ場所ニ
 シテ明石郡新濱林江井嶋中尾西岡本郡西二見古宮本
 莊別府高砂町ノ十一町村及本村ノ入會トス
 西二見村

鯛鱒漁場ハ明石郡林村及本村トノ入會トス右廣狹ハ
 本村地先海面字鹿ノ瀬ノ内東新マヽ口ヨリ西ウヽノ
 鼻迄里程壹里ノ間トス但明治七年明石郡林村ト爭論
 アリシカ示談ノ上本文ノ如ク定ノタリ示談書ハ參考
 古郡第二

章魚漁場ハ東二見古宮及本村ノ入會トス右廣狹ハ東
 ハ明石郡境ヨリ淡路國津名郡垂井村ノ内江井浦見通
 シ西ハ古宮本莊兩村境迄トス此間ノ里程沖合マテ二

里海岸ニテ一里トス又南ハ東二見村章魚漁場南端區
 域ノ線ト同一ノ線ヲ見通シ以テ限リ北ハ陸ヲ以テ限
 レリ此間ノ距離ハ東端ニテ四里九丁西端ニテ五里拾
 八丁トス

諸漁場前記除クハ明石郡新濱林江井嶋中尾西岡本郡
 東二見古宮本莊別府高砂及本村ノ入會ニシテ東ハ明
 石郡谷八木村ヨリ淡路國津名郡岩屋浦ノ内字江崎見
 通シ陸ヨリ三里西ハ飾東郡八家村ヨリ沖ハ八里ニシ

テ沖合ノ境ハ東二見村諸漁塲ト全シ方位ノ線ヲ以テ
限レリ此所東西ノ間八里又海岸ハ六里トス

古官村 本莊村

諸漁塲ハ本村及西二見東二見別府高砂荒井印南郡伊
保崎飾東郡家嶋飾磨津妻鹿中明石郡西岡中尾魚住江
井嶋藤江新濱其他淡路兵庫ノ入會ニシテ魚住江井嶋
岡兵庫ハ近來其廣狹ハ東ハ明石郡藤江村ヨリ神ノ出
ノ入會ニ係ル山見通シ沖手ハ壹里西ハ飾東郡八家村ヨリ上嶋見通
シ沖手ハ四里此東西ノ距離沖境ニテ崎上ハ高取山唐
シト六里海岸ニテ七里トス此間ヲ總テ響洋ト稱ス

別府村

諸漁塲ハ高砂本莊古官西二見東二見明石郡江井嶋及
本村ノ入會ニシテ右廣狹東ハ明石郡江井嶋ヨリ淡路

丸山見通シ西ハ高砂ヨリ公山見通シ沖手ハ各二里廿
八丁本村字川口ヨリ沖合字大磯ニシテ東西ノ距離ハ
ニ至ル迄境トスルニヨル沖手ニテ四里海岸ニテ四里六丁トス

高砂町

諸漁塲ハ揖西郡濱田揖東郡新在家勘兵衛新田飾西郡
英賀飾東郡飾磨津中嶋阿成白濱印南郡曾根伊保崎本
郡荒井別府古官本莊西二見東二見明石郡江井嶋八木
林及本町入會トス右廣狹ハ東ハ明石郡明石ヨリ西ハ
揖東郡網干ニ至ル里程十一里南ハ陸ヨリ沖手ハ四里
トス

荒井村

諸漁塲ハ飾東郡飾磨八家家嶋揖東郡網干印南郡伊保
崎曾根本郡高砂二見古官本莊別府及本村ノ入會トス

右廣狹ハ東ハ本郡二見港ヨリ字牛山ヲ飾東郡地先見海面ニアリ通シ沖手ハ一里半西ハ飾東郡八家巢ヨリ同山見通シ沖手ハ一里半東西ノ距離南端ニテ二里半海岸ニテ三里トス

第二節 仲間加入ノ仕來

東二見村

村内ノ者新ニ漁業ヲ營マントスル者ハ先ツ漁者ノ承諾ヲ經テ而ル後許サル此場合ニハ仲間入りト稱シ漁者一統ニ酒肴料トシテ金壹兩以上貳拾兩以内ヲ贈ル

西二見村

新規加入及仲間入ノ手續ハ東二見村ニ全シ但シ金貳拾圓ニシテ毎年貳圓宛五ヶ年間ニ贈ルナリ

古宮村 本莊村

新規加入セントスル者ハ懇親ノ為ノ酒肴ヲ以テ漁者一統ヲ饗ス

別府村

新規加入ノ手續ハ東二見村ニ全シ但シ金貳拾錢ヲ贈ル

高砂町

新規加入ハ東二見村ト全シ手續ヲ經テ管廳ニ出願シ其許可ヲ得テ後ナ之レヲ許ス但仲間入ハ金三圓ト外ニ酒料トシテ金三拾錢或ハ酒二升ヲ贈ルノ例ナリ
第三節 他方ノ漁者來漁ニ係ル手續

西二見村

飾磨津ノ漁夫本村ノ沖合即チ東二見古宮本莊別府高砂及本村等ノ入會漁場ハ入漁セントスル者ハ都合ニ

ヨリ之レヲ許ス₁アリ従前ハ此場合ニハ漁場料トシ
テ年々酒ニ斗及海鯽一貫目宛ヲ徵收セシ₁アリシカ
明治八年頃ヨリ廢絶セリ

別府村

他方ノ漁者本村漁場ニ入漁セントスル₁キハ本村釣漁
ノ時ヲ除キ之レヲ許ス

第四節

販賣ノ仕方

東二見村

捕漁セシ魚ハ直チニ本村市場へ運輸シ即金ヲ以テ賣
買ス問屋口錢ハ賣價金ノ七分トス

西二見村

捕漁セシ魚ハ直チニ本村市場ニ於テ即金ヲ以テ取引
ス問屋口錢ハ賣價金ノ三分トス

出買ト稱スルモノアリ漁舟ニ打乘リ沖合ニ居ル所ノ
漁者ニ就キ之レヲ買取ルモノニシテ概テ即金ヲ以テ
取引ス然レ₁本村ニ於テハ專ラ市場ニ運輸スル故ニ
出買ニ賣ルモノハ僅ニ收穫ノ二分許ニ過キス

古宮村 本莊村

捕漁セシ魚ハ本莊村市場へ運輸シ即金ヲ以テ取引ス
問屋ニ於テハ賣價ノ四分三ノ内ニテ一釐₁、₂銀札₃、₄釐₅
_{ニシテ}即チ_三目下_四ノ漁師採料トシテ徵收ス右ハ寶曆年
間ヨリ行ヒ來リ維新後廢セリ其后漁者ハ魚問屋ヨリ
年末₁舊曆_ニ漁船一艘ニ付金若干ヲ仕入金トシテ無
利足ニテ借入ル此場合ニハ一尾ノ捕魚ヲモ他へ賣却
セサルノ契約ヲ結ヒ而シテ賣却代金ノ内ヨリ漸次償
却ス

別府村

捕漁セシ魚ハ即金ヲ以テ仲買商ニ販賣ス

高砂町

捕漁セシ魚ハ直ニ本地定市場問屋へ運輸シ仲買人ノ
評價ヲ以テ賣捌キ代金ハ問屋ヨリ其日勘定ヲ以テ取
引ス此際問屋ニ於テハ賣價金ヲ十四ニ割り其一ヲ問
屋口錢トシ又其一ヲ仲買人ニ歩戻シトシテ與へ漁夫
ニハ其十二ヲ支拂フ

荒井村

出買船ニ賣却スルモノ僅ニ收穫ノ十分一二過キス
捕漁セシ魚ハ直チニ印南郡伊保崎村字高須ノ魚市場
五丁^四ニ運輸シ即金ニテ賣渡ス

第五節

漁村維持並ニ救恤

東二見村 西二見村

漁船若シ海中ニ於テ颶風等ノ難ニ罹ル時之レヲ見認
ムルモノアラハ直ニ危険ヲ冒シテ之レヲ救援スルノ
例ニシテ上陸ノ後ハ罹難者ヨリ酒肴等ヲ以饗應スル
ヲ常トス

第三項

雜事

東二見村 西二見村

祝ヒ 出漁セントスル時其手配り全ク終ルヲ網卸シ
ト稱へ家族並ニ雇夫船大工及ヒ船隣ノ者共ニ集リ
祝宴ヲ張ル^トアリ又大漁ノ時ハ之レヲ祝シ酒肴ヲ
以テ雇夫手間取等ヲ饗應スル^トアリ
雇夫給食 雇夫ニ食事ヲ給スルハ朝五時晝十時及
三時ノ三度トス食事ノ節ハ船頭ノ指揮ニヨリ雇夫

盡ク相集テ坐列シ喫食スルナリ而シテ飯ノ添ニハ
菜漬大根漬トス茶ハ一切之レヲ給セス湯又ハ水ヲ
以テ之レニ代フ

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル所ノ神ハ其數三就中最モ
歸依スルモノハ西宮戎神社及住吉大神宮トス

古宮村 本莊村

祭祀禁忌 漁夫ノ重ニ信仰スル所ノ神ハ蛭子神ニ

正月十日陰曆ニハ休業ヲナシ之ヲ祭ル

高砂町

祭祀禁忌 漁夫ノ信仰スル所ノ神佛ハ其數神三佛ニ

アリ金比羅神海神宮蛭子神觀其中重ニ歸依スルハ

蛭子神金比羅神觀世音菩薩ナルカ其中又最モ信仰

スルモノハ蛭子神ニシテ陰曆正月三日ヨリ十三日迄

及九月廿一日ニハ之レヲ祭り大漁ヲ祈ル又雇主ハ

此日ヲ親方祭蛭子神ト稱シ漁夫ニ酒肴ヲ與ヘ漁期

中ノ勞ヲ慰ムル事アリ

雜件 毎月十四日陰曆夕方ヨリ翌十五日朝迄七月廿日

夕方ヨリ翌二十一日朝迄漁者一般休業ス

第三款 犯則違例ノ所分

東二見村 西二見村

漁者申合セ一ノ漁會所ヲ設置シ四名ノ役員當時ノ漁業取締人モノ如キヲ撰舉シ若シ規約慣行等ニ違犯スルモノアリタルハ該役員ヨリ同業雇主ニ通知シ掛合中ハ就業セシメス又逆登シト唱ヘ違背者ノ漁舟ヲ逆ニ陸地ヘ引揚クルノ慣行アリタリ

古宮村 本莊村

休業ノ日ニ出漁スルモノアルハ其船ヲ漁師仲間ヘ預リ船ヲ海岸ヘ逆ニ引キ揚ケ置クアリ

高砂町

總テ規約慣行等ニ違犯スルモノアルハ其所分方古宮村ニ全シ

鰈

四五寸ヨリ一尺一二寸ノモノトス 高ニ砂ヨリ調

其當歳ノ大サ四寸此量ニ三年目ニ六寸此量六

ニ八寸此量百ニ及ブモノアリ之ヲ最モ佳味ノ時トス

普通多キモノハ右百四十目位ノモノトス 釀ニ見附調

下同

牡蠣

其大ナルモノハ量七匁位アリテ最モ佳味ナリ而シテ
普通多キモノハ量五匁位ノモノトス

鯛

其當歳ノ大サ三四寸此量ニ三年目ニ六寸此量八三年
目ニ一尺此量三ニ至ル而シテ普通多キモノハ右三百

目位ノモノトス

章魚

象化後一年ヲ經過シ量三百四五目トナル之レヲ普
通多キモノトス

鰯

象化後四年ヲ經過シテ三尺ニ及フ此量二貫四百目
アリ其當歳ノモノハ大サ六七寸此量百ニ至ル之ヲ
カナト云フ二年目ニ一尺一二寸此量百四三年目ニ一尺
七八寸此量百一貫ニ至ル而シテ佳味ナルハ秋季ニ在リ

本莊ヨリ調

小鱈

象化五ヶ月ヲ經過シ一尺二寸此量八十ナル之レヲ最
モ佳味ニシテ且普通多キモノトス 西ニ見附調

鰈

魚類

其當歳ノモノハ大サ二三寸此量ニ至ル之レヲツナシ
 ト云フ二年ニ至リ四五寸此量ニ及ブ右二三寸ノモ
 ノヲ佳味ノ時トス而シテ普通多キモノハ四五寸位ノ
 モノトス東ニ見村調査ニ

鱈

其當歳ノ大サ一尺廻リ此量ニ及ブ二年目ニ二尺廻リ此量ニ及ブ
 三年目ニ三尺廻リ此量ニ及ブ一貫ニ及ブモノアリ之ヲ最モ
 佳味ニシテ且普通多キモノトス

手長章魚

孚化後一ケ年ヲ経過シ量二百目トナル之ヲ普通多キ
 モノトス

繪残魚

二月ニ孚化シ百五十日ヲ経過テ三寸ニ至ル此ニ及テ

鱸

孚化後一年ヲ経テ一尺トナル其當歳ノ大サ六寸此量ニ及ブ
 目ニ至ルヲ「セイゴ」ト云フ二年目ニ一尺四五寸此量ニ及ブ
 トナル之ヲ「ハ子」ト云フ三年目ニ三尺此量ニ及ブ七ニ及フモ
 ノアリ之ヲ最モ佳味ノ時トス而シテ普通多キハ五六
 寸ノモノナリ高砂町調査ニ

兵庫縣

系

第二批 漁期

第一項 期節

捕魚採藻ノ期節尤ノ如シ

辛螺	八子	鯉	飯	鰯魚	飯章魚	烏賊	鰯	品名	
								期節	東二見村
至五月 自十二月			至九月 自十月		至二月 自四月	至五月 自六月	至九月 自十一月	期節	東二見村
								良時季	
至五月 自十二月			至九月 自十月		至二月 自四月	至五月 自六月		期節	西二見村
								良時季	
至五月 自十月	周年	至六月 自十二月	至六月 自十月	至八月 自四月	至八月 自四月	至三月 自九月	至六月 自十二月	期節	古官村 本莊村
								良時季	
								期節	別府村
								良時季	
	自八月 自五月	至八月 自五月	十一月	至八月 自十月		至四月 自十一月	至七月 自十月	期節	高砂町
								良時季	
				至七月 自十月				期節	荒井村
								良時季	

系

兵庫

第三項 群来ノ前兆

諸魚ノ群来スルハ總テ鷗群飛スルヲ見テ之レヲ知ル
本莊村調 ○大潮ノ片雨ヲ催ス丁アレバハ「子」群集ノ兆ナ
査ニヨル
リ別府ヨリ調

第四項 去来ノ期節及方向

魚類ノ去来ハ其年ノ氣候ニヨリ異同アリト雖正概シテ
四月ニ来リ十二月ヲ以テ去ル 據ルニ見テ村全査ニ ○去来ノ
方向ハ本村漁場内ニ生育シ東行シテ明石ノ瀬戸ヲ經過
シ漸次進シテ紀伊國熊野灘ニ至ルモアリ或ハ阿波國鳴
戸ヲ經過シテ全灘ニ到リ遂ニ又本村漁場内ニ帰ルモア
リ又鯨ハ群ヲナシテ海岸ニ沿ヒ西ヨリ東へ行ク

第三款 漁場

東ニ見村

區域 章魚漁場ハ左ノ數ヶ所ト不明石郡八木村ノ沖

合字上「カ」レ「ア」カリニ全村ヲ夫ヨリ南西方四十丁ノ間全

村ノ沖合字松ノ出シ五丁村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

ノ沖合字上「カ」レ「ア」カリニ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

字「カ」イ「ロ」ジ「ロ」所ニ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

井嶋村ノ沖合字下「カ」レ「ア」カリニ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

村ノ沖合字上「カ」レ「ア」カリニ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

ノ沖合字今瀬シ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

村ノ沖合字下「カ」レ「ア」カリニ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

ノ沖合字沖ノ瀬ニ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

ノ沖合字「マ」ツ「ア」ワセニ全村ヲ夫ヨリ西南方四十丁ノ間全

郡西岡村ノ沖合字「マ、ノ」下三全村ヲ距ル南ノ方百二
 十七丁全郡魚住村ノ沖合字「ハ、リ、キ、リ」ノ方四十丁ニ南
 シテ夫ヨリ西及本村ノ沖合字「カ、イ、ガ、ラ」瀨ル本村ノ方
 十七丁ノ所ニシテ夫又鯔魚鱸鰶其他漁場ハ東明石
 ヨリ西十七丁ノ間
 郡谷八木村沖合ヨリ西加古郡池田村沖合迄里程三
 里ノ間地方ヲ距ル八丁以内トス

潮流 常ニ東西ニ往来シ春秋冬ハ急ニシテ夏ハ緩ナ
 リ又字沖ノ瀨「ハ、リ、キ、リ」今瀨ノ三ヶ所ハ海中峽ヲナ
 シテ口ヲ東西ニ開キ満潮ノ時ハ東ヨリ入り干潮ノ
 時ハ西ヨリ出テ恰モ急流ノ如ク一帯ノ川形ヲナス

水底ノ概狀 字「カ、イ、ガ、ラ、セ」陸ヲ距ルハ深サ六尋此水
 底ハ中砂利貝等ナリ故アリ此次ヲ「カ、イ、口、海」ト云フ陸
 距ル四十深サ七尋乃至十八尋アリ水底ハ中砂利ナ
 リ次ヲ誰海ト云フ陸ヲ距ル深サ二十尋乃至三十七

尋二尺アリ水底ハ中砂利ナリ
 西二見村
 区域 章魚漁場ハ九ノ數ヶ所トス即チ本村沖合字瀨
 ノ上方本村十五丁距ル南ハ全字「カ、タ、ギ、ト」方二十丁距ル南全
 字大磯方本村十六丁距ル南ノ全字塚ノ磯方本村十丁距ル南ノ
 全字隅ノ磯方本村十七丁距ル南ノ全字畑ヶ磯方本村方三十
 八丁全字住吉「マ、タ、ゲ」方本村十丁距ル南ノ全字矢筋方本村
 以內ノ全字高山當リ本村二里以内ノ全字青山
 出シ本村三里以内ノ全字モウノ上本村十八丁以南ノ方
 又諸魚漁場ハ東明石郡谷八木村沖合ヨリ西印南郡
 八家沖迄里程六里ノ間トス

潮流 東二見村ニ全シ

水底ノ概狀 字瀨ノ上陸ハ距離ハ深サ八尋水底ハ大砂
 判ナリ次ヲ瀨ノ下ト云フ陸三丁距離深サ十三尋水底
 ハ泥ナリ次ヲ長山出シト云フ陸三丁距離深サ二十六
 尋水底ハ黒泥ナリ次ヲ青山出シト云フ陸十丁距離四
 深サ十五尋水底ハ白砂ニシテ海藻叢生ス次ヲ「ウツ
 ノ瀨ト云フ陸七丁距離深サ十四五尋水底ハ白砂ナリ
 次ヲ「モウ」上ト云フ陸十丁距離深サ四尋乃至三十
 尋此水底ハ「アジモウ」叢生ス

古宮村 本莊村

區域 諸漁場ハ東ハ明石郡藤江村ヨリ神ノ出山見通
 シ沖手ハ一里西ハ飾東郡八家村ヨリ上嶋見通シ沖
 手ハ四里北東西ノ距離沖境ニテ六里海岸ニテ七里
 ノ間トス

潮流 陸地ノ方ハ東西ニ沖ノ方ハ東南ヨリ西北ニ往
 来ス

別府村

區域 諸漁場ハ東ハ明石郡江井嶋ヨリ淡路丸山見通
 シ西ハ高砂ヨリ同山見通シ各二里二十八丁其東西
 ノ距離ハ沖手ニテ四里海岸ニテ四里六丁ノ間トス

高砂町

區域 鯛鰈海鯽鮫鱈蝦真章魚鰯類ノ漁場ハ地方ヲ距
 ル七八丁沖手ニシテ「ヒラ」藻ノ生セシ所トス此藻ハ
 東西ニ連生シ魚群最モ多ク棲息ス又高砂港ヲ去ル
 一里許リ東南ナル字大磯及夫レヨリ東南ハ二三
 十丁ナル八木磯ノニヶ所ニシテ皆諸魚ノ良漁場ト
 ス

潮流 常ニ東西ニ往来シ而シテ大潮小潮ト云ヒ毎月

一回緩急ノ變アリ即チ陰曆毎月二十七日ヨリ翌月三

日頃迄ハ急流ニシテ其余ハ緩ナリ

水底ノ概状 海岸ニ接近セシ所ハ三尋ヨリ五尋迄ノ

深サニシテ一樣ナラス此所ヲ大藻ト云フ此場所ハ

三月ヨリ七月迄諸魚群集ス又大磯ニハカラ藻ハ木

磯ニハナガ藻イギス藻叢生シ四月ヨリ八九月ノ頃

迄諸魚群集スル所ナリ

荒井村

區域 鯰漁場ハ本村沖合即チ池田村ノ地先キ二三丁

西ハ印南郡曾根村新開崎辰巳ノ方ニアリ又荒井川

字千鳥橋ヨリ流末海面トス又チ又延繩漁場ハ明石

地方沖合ニアリ

潮流 常ニ東西ニ往来ス然レモ春冬別ニ緩急ノ變ナ

シ

水底ノ概状 陸ヲ距ル三里ノ所ヲ牛山ト云フ深サ廿

五六尋ニシテ水底ハ砂泥ナリ

第四款 入會漁船ノ數

東二見村

一章魚漁場

漁船總數百八拾艘或但一三艘二人乘 明治十九年十月調

内

明石郡林村ノ漁船 六拾艘

今郡江井嶋村ノ漁船 二拾艘

本郡西二見村ノ漁船 五拾艘

本村ノ漁船 五拾艘

當漁場ハ明治十年頃迄ハ二百四五拾艘許アリシカ

明治十五年頃ヨリ年々減シ遂ニ本文ノ數トナレリ

一 鯨鱸鯨魚場

漁船總數四艘但一人一艘二人乘 明治十九年十月調

内

明石郡大藏谷村ノ漁船 壹艘

全郡山田村ノ漁船 壹艘

本村ノ漁船 二艘

一諸魚漁場

漁船總數四百四十五艘 但一人乘 明治十九年十月調

内

明石郡新濱村ノ漁船 百四十艘

全郡林村ノ漁船 二十艘

全郡江井嶋村ノ漁船 十艘

全郡魚住村ノ漁船 五艘

全郡西岡村ノ漁船 五艘

本郡西二見村ノ漁船 五十艘

全郡古宮村ノ漁船 四十艘

全郡本莊村ノ漁船 十五艘

全郡別府村ノ漁船 十艘

全郡高砂町ノ漁船 百艘

本村ノ漁船 五十艘

當漁場ハ明治十三年頃迄ハ六百艘許ナリシカ明治

十五年頃ヨリ年々減シテ遂ニ本文ノ數トナレリ

西二見村

一章魚漁場

漁船總數百十艘 但一人乘 明治十九年六月調

内

本郡東二見村ノ漁船 五十艘

全郡古宮村ノ漁船 十艘

本村ノ漁船

五十艘

當漁場ハ明治十四年頃迄ハ百三十艘許ナリシカ明治十五年頃ヨリ年々減シテ遂ニ本文ノ數トナレリ

古宮村 本莊村

一諸漁場

漁船總數六百三十九艘

但一艘二人乘

明治十九年六月調

内

兵庫港漁船

五艘

明石郡新濱村漁船

百二十艘

全 郡林村漁船

四十艘

全 郡藤江村漁船

六艘

全 郡江井嶋村漁船

二十五艘

全 郡魚住村漁船

十艘

全 郡濱谷村漁船

六艘

全 郡西岡村漁船

六艘

飾東郡飾磨津漁船

五十艘

全 郡妻鹿村漁船

八十艘

全 郡家嶋漁船

四十艘

本郡東二見村漁船

七十艘

全 郡西二見村漁船

三十五艘

全 郡荒井村漁船

二艘

全 郡高砂町漁船

七十艘

全 郡別府村漁船

五艘

全 郡古宮村漁船

四十四艘

全 郡本莊村漁船

二十五艘

高砂町

一 諸漁場

漁船總數千六百七拾艘 或但一艘二人 或八艘三人 或六艘二人 明治十九年六月調

内

和泉境地方漁船	五十艘
備前地方漁船	二百艘
明石郡地方ノ漁船	二百艘
印南郡地方ノ漁船	五十艘
飾東郡地方ノ漁船	七百艘
飾西郡地方ノ漁船	三十艘
揖東郡地方ノ漁船	二十艘
揖西郡地方ノ漁船	二十艘
本郡各地方 <small>當町ノ</small> 漁船	二百艘
當町ノ漁船	二百艘

當漁場ハ維新以前ハ僅ニ九百艘許ナリシカ明治元年ノ頃ヨリ年々他ノ漁場ヨリ入會來リ從テ捕魚船增加レ遂ニ本文ノ數トナレリ

第五款

漁具

第一項

漁網及釣具等

漁具現數左ノ如シ

飯追建網 數把	鰻魚建網 數把	鰻魚流七網 數把	鰻魚不リ網 數疊	鰻魚鰻魚四艘張網 數疊	鰻魚打網 數疊	飯草魚壺繩 數桶	鰻沖曳網 數疊	鰻高賊續地曳網 數疊	漁具名
七						二八		二	東二見村
一						四七			西二見村
一八〇				一	七		一八		本莊村
						六〇	六〇		古官村
				二	四〇	二〇	六一		別府村
		二五	二	三	六	六	一一二		高砂町
	四〇				二八		二		荒井村
一八	四〇	二五	一四二	六	八二	一六一	三三	二二	合計

鮎 網 數 疊	鯨 釣 數 本	鯨 拵 繩 數 桶	鯨 釣 數 本	海 鯨 釣 數 本	海 鯨 拵 繩 數 桶	海 鯨 網 數 把	鯨 網 數 把	鯨 網 數 疊	辛 螺 イ サ ル 數 把	鯨 釣 數 本	鯨 拵 繩 數 桶	鯨 拵 繩 數 桶
五〇						九三						
四〇						六二			五〇			七
六六					七八	一五〇	六〇	一	二〇		五二〇	一八二
二〇		五			六〇				四五		八六〇	
二	三二	一一〇	三二	三二	六四	五〇〇			三二	三二	二一六	
					一二〇	一六〇	二五				二〇〇	二〇
一一八	三二	一二五	三二	三二	三二	九六五	八五	三	一四七	三二	一七九六	二〇九

鮎 魚 網 數 疊	蝦 漕 網 數 疊	烏 帽 子 貝 イ サ リ 數 把	鯨 釣 數 本	小 鯨 網 數 疊	鯨 拵 繩 數 桶	蜘蛛 章 魚 釣 數 本	ナ ダ ラ 釣 數 本	章 魚 掛 數 把	章 魚 壺 繩 數 桶	鯨 流 セ 網 數 疊	鯨 拵 繩 數 桶	鯨 ゴ チ 網 數 疊
						七五〇			一一〇	二		二五
		五〇				五〇〇			一〇〇			四〇
二二		二〇		二二		三六四					一三〇	八
五〇		四五		五〇		六〇二			一五〇		一〇〇	二〇
五			三二	五	一一〇		六四	一九二	四〇		九六	七
	一〇〇						四〇〇		六		二四〇	二
七七	一〇〇	一一五	三二	七七	一一〇	二二一六	四六四	一九二	四一六	二	五六六	一〇二

魚
庫
集

鱸釣	鱸拵	雜魚手繰網	海鰻繩拵	鱈釣
數本	數桶	數疊	數桶	數本
		五〇		
		五〇		
	一八二			
	三〇一			
一六	一二〇		一六五	六四
		三〇	一〇〇	
一六	六〇三	一三〇	二六五	六四

第二項 漁船

漁船現數左ノ如シ

種別	一間漁船	二間漁船	三間漁船
東二見村	二一	五六	四
西二見村	一六	四七	一
本莊村	二二	二	二
古宮村	五五		
別府村	一四		
高砂町	一九二		二
荒井村	七		
合計	三二七	一〇五	九

第六款 漁法

鰯魚

地曳網 津名郡ニ全シ

沖曳網 赤穂郡鰯曳網ニ全シ

烏賊漁

地曳網 漁期六月頃鰯地曳網ヲ以テ漁ス 東二見村調

飯章魚漁

壺繩 明石郡ニ全シ

鰻魚漁

打網 揖東郡ニ全シ

四艘張網 揖西郡ニ全シ

不リ網 漁期八月ヨリ十月ニ至ル 田船ヲ平田船ニ艘ニ

四人宛乘組漁網ヲ分載シ潮流ノ緩急ニ係ハラス分

載ノ網ヲ繫キ左右ニ分レ弧線ニ網ヲ布キ而シテ洲
又ハ地方ハ引寄セ魚ヲ收ム高砂ヨリ調

流セ網 鮪流セ網ニ全シ

建網 七把乃至十把ヲ繫キ潮流ニ隨ヒ之ヲ曳キ其目
ニ掛リタルモノヲ捕フルモノトス荒井村調

飯漁

追建網 漁期九月ニ至レハ漁船二艘ニ各五人乘組漁

網一疊ヲ分載シ二艘繫キ合セ漕出シ魚族ノ群集ヲ

目撃シ直チニ網ヲ投シ左右ニ分レテ魚ノ群集ヲ圍

ム然ル片ハ魚ハ網目ニ掛リ去ルヲ能ハス又一艘ノ

網船ハ竹竿ヲ以テ網圍中ヲ叩キ魚ヲ威レテ其逸去

ヲ防ク而シテ雙方共ニ網ヲ相曳テ之ヲ揚ク東ニ見

ルニヨ

併繩 明石郡ニ全シ

鱧漁

併繩 明石郡ニ全シ

辛螺漁

イサリ 一月頃ヨリ風ナキ日漁船一艘ニ二人乘組漕

出該貝ノ所在ヲ水上ヨリ視察シ該具ヲ以テ之ヲ漁

スルナリ本庄村調

鮪漁

追建網 漁船二艘ニ各八人乘組ニ該網ヲ分載シ外ニ

手船四艘ニ各三人乘組都合六艘ノ船ヲ備ヘ時期ヲ

俟ツ抑モ該魚ハ海上穩カニシテ暖ナル日ニ群ヲ成

シテ地方ニ寄ル故ニ如此ノ日ヲトシ漁事ヲ為ス而

シテ魚見各手船一艘ニハ常ニ海面ヲ視察シ其群集ヲ

認ムレハ直クニ二艘ツ、左右ニ分列シ網船ニ指揮
 ヲナシ網ヲ布テ之ヲ圍マシム即チ網船ハ其指揮ニ
 従ヒ分載ノ網ヲ繫キ左右ニ分レテ弧線ニ網ヲ布ク
 魚見船ハ其位置ヲ轉シテ網ノ左右ニ廻リアバ肩ヲ
 引キ網船ハ「イワ肩」ヲ引キ以テ遂ニ之ヲ繰上ケテ捕
 獲ス東ニ見村調
 四艘張網 揖西郡鰯魚四艘張網ニ全シ
 流セ網 流セ網ハ上ハ流セ底流セノ二種アリ上ハ流
 ハ三月ヨリ五月ニ至ル底流セハ十二月ヨリ翌年二
 月迄ヲ以テ漁期トス而レテ上ハ流セハ漁船一艘ニ
 一人乘組ニ潮流ヲ遮キリ一直線ニ網ヲ布ケリ網ハ
 潮ニ従ヒ流ル暫クシテ之ヲ繰揚ケ其目ニ掛リタル
 モノヲ收ム底流セハ重キ「イワ」ヲ付シテ海底ニ沈ム

ルノ異ナルノニ高砂町調

海鰯漁

底建網 漁期五月ヨリ十一月迄ニシテ漁船二艘ニ各

三人乘組該網ニ疊ヲ備へ漕出シ二船左右ニ分レ網
 ヲ下シテ魚群ヲ圍ム該魚ハ網目ニ掛リ出ル下能ハ
 ス即チ之ヲ曳キ揚ケ捕フ但日暮或ハ黎明示潮ノ時
 ヲ良トス高砂町調

拵繩 明石郡ニ全シ

釣 赤穂郡ニ全シ

鯨漁

釣 三原郡ニ全シ

鰈漁

底建網 海鰯底建網ニ全シ

拵繩 釣 飾東郡ニ全シ

牡蛎漁

牡蛎網 漁期十二月ニ至レハ漁船一艘ニ漁夫二人或ハ三人乘組該網ヲ海中ニ投シ潮流ニ沿フテ曳キ以テ捕獲スルモノトス 東ニ見ル村調

鯛漁

流セ網 網二疊ヲ漁船一艘ニ積ミ漁夫六人乘組ニ沖合ニ漕出ス魚ノ群集ヲ認ムレハ潮流ニ沿ヒ「アバ有」ニ三人網ニ三人ニテ之ヲ投レテ團ム而シテ桐製ノ浮樽ヲ地方ノ方ト沖合ノ方ト相對シテニケ所ニ括リ付ケ以テ浮標トス斯ノ如クナシテ遂ニ繰リ揚ケ之ヲ漁獲ス該網ハ鯛ノ外「ワ」ヲ鱸ヲモ漁セリ 東ニ見ルニヨ

ゴチ網 拵繩 津名郡ニ全シ

底建網 海鯽底建網ニ全シ

章魚漁

壺繩 明石郡真章魚漁ニ全シ但七月ヨリ九月迄ハ毎日其他ノ日ハ半週間乃至一週間ニシテ繰リ揚ケルモノトス 東ニ見ル村調

ナダラ漁

釣 漁期ニ至レハ漁船ニ一人乘組ニ潮ノ緩急ニ係ラス碇ヲ卸ロシテ船ヲ止ノ釣ルモノナリ但シ二本釣トス 高砂ヨリ調

蜘蛛章魚漁

釣 漁船一艘ニ二人或ハ三人乘組ニ地方ヨリ十丁乃至二十丁ノ沖合ニ出テ一人各五六挺ヲ持テ潮流ニ

沿フテ釣ル其餌ハ蜘蛛章魚ヲ用ニ但潮流ノ急ナル時ハ皆石間ニ潜伏スル故不漁ナリ東ニ見ヨル村調

鯽魚

拵繩 明石郡鯽拵繩ニ全シ

小鯛魚

小鯛網 六月頃ニ至レハ漁船一艘ニ三人乘組ニ該網ヲ積ニ午前七時頃ヨリ海底小砂ノ所ニ漕キ出テ網ヲ敷キ廻シ之ヲ囲ム此時アテ木ト唱ヘ樞板ヲ横タヘ槌ニテ之ヲ叩キ頻リニ喧囂ノ聲ヲナシ以テ魚ヲ網中ニ駆リ入ルト共ニ漸次之ヲ繰リ揚ケ捕獲スルモノトス本庄ヨ村調

鮪魚

釣 飾東郡ニ全シ

鯨魚

追建網 鯨追建網ニ全シ

蝦魚

漕網 漁期六月ヨリ十月ニ至レハ漁船ニ一人乘組ニ風波ノナキ夜ヲトシ漕出シ潮流ニ隨ヒ網ヲ海中ニ沈メ網ノ手繩ヲ舳梁ニ括リ付ケ櫓ヲ押シ進行スル一凡二十分間許ニシテ而シテ網ヲ引揚ケ捕獲ス
砂高
町調一

烏帽子貝魚

イサリ 辛螺魚ニ全シ

鱈魚

地曳網 六七月頃鰯地曳網ヲ以テ漁ス東ニ見ヨル村調

鮠魚

鮑魚網 漁期四月頃ヨリ漁船一艘ニ三人乘組ニ網一畳ヲ載セ海底生藻ノ場呀ハ出テ先ツ網ノ一方ニ樽ヲ付レテ之ヲ投シ尋テ海中ハ敷キ全ク圓形ニ引廻シ終リ之ヲ繰リ揚ケ捕獲ス本庄ヨリ調

鱒漁

釣 飾東郡ニ全シ

海鰻鱺漁

拵繩 飾東郡ニ全シ

雜魚漁

手繰網 飾東郡ニ全シ但風波ナキ夜ヲトシ船ヲ潮流ニ向ハシメテ碇ヲ卸ロシ而シテ網ヲ曳ク丁凡二十分間ナリ此時船中胴ノ間ニ炬火即チ拾割木ヲ束子テ舷ニ掛ケ火ヲ照ラシ以テ之ヲ捕獲ス高砂町調又

鱸漁

夜曳ハ四五月晝曳ハ六七月ノ間トス東ニ見ル村調

追建網 鮎追建網ニ全シ

四艘張網 揖西郡鮎魚四艘張網ニ全シ

拵繩 三原郡ニ全シ

釣 飾東郡ニ全シ

兵庫縣

第七款 有害漁法

鰈延繩漁ハ明治八年頃ヨリ飾東郡飾磨津及淡路岩屋浦
 ノ漁者又海鰻鱺延繩漁ハ今年頃ヨリ泉州環浦ノ漁者本
 村沖合字「カイガラセ」ニ於テ管ムトヲ始メタルモノニシ
 テ其以前ニハ一切ナカリシ然ルニ之ヲ管ムトヲ始メテ以
 東手操網漁業ヲ妨害シ大ニ之ヲ衰頽セシメタリ東ニ見
村調査
ニヨル以○鮪釣ハ明治十四年頃ヨリ備前下津井ノ漁者
 前全場ニ来リ管ニ前全様ノ妨害ヲナス○鱈豎網漁ハ泉
 州ノ漁者明治十五年頃ヨリ本村沖合ニ来リテ管ニ前全
 様ノ妨害ヲナス○流セ網漁ハ備前日生ノ漁者本村沖合
 字「マ」ノ内ニ来リ管ニ本村鮪網漁ヲ妨害スルト甚クシ
西ニ見村調○夜漕網ト云クハ苔藻及魚卵産付ノ場所ニ
查ニヨル於テ使用スルヲ以テ一月ヨリ四月頃迄ハ苔藻ノ生長ヲ

六二五系

妨ケ又魚卵ヲ損害ス故ニ小魚ハ成長スルノ數ク又中魚大魚ハ魚餌ノ乏シキニ依リ去テ他海ヘ行キ為ニ近來不漁打續キ漁業ハ追々衰頽ニ傾向セリ本莊村調○中高網ハ不良ノ漁具ナルヲ以テ明治五年舊飾磨縣ニ於テ禁止セラレタリ然ルニ往々鰯網ト偽稱シ尚之ヲ使用スルモノアリ蓋シ該網ハ魚ノ大小ヲ論セス悉皆捕獲スルモノナル故他ノ漁業者ヲ妨害シ大ニ漁業ノ衰微ヲ來セリ町以下全シヨ○ウタセ網ハ維新後備前國其他諸方ノ漁者數多來リ使用シ年々増加シ其數現今五六百艘以上ニ登レリ抑該漁ハ大小ノ魚ヲ悉ク捕獲スルノミナラス海底ノ生藻ヲ切り荒シ魚類ノ棲息ヲ妨クル等其害少ナカラス此ヲ以テ我漁業ハ年々衰微ヲ來セリ

第三章 蕃殖

第一款 生産期節

魚族ノ生産スル期節左ノ如シ 東ニ見村本莊村高砂町調査ニヨル

品名	飯章魚	烏賊	鰯	辛螺	花魚	鰯	海鰯	鱈魚
生産期節	一月	三月	三月	三月	七月	三月	三月	七月
調査地		四月					四月	
調査時期	四月	八月	五月	四月	八月	四月	五月	八月
備考	卵ヲ孕ミタルモノヲ初メテ捕獲セシ月	卵ヲ孕ミタルモノヲ最后ニ捕獲セシ月						卵ヲ孕ミタルモノヲ初メテ捕獲セシ月

鱸	雞魚	ア イ ゴ	鮠魚	手長 蛸	蝦	鯪 鱒
三月	七月	三月	十一月	三月	六月	七月
					七月	
四月	八月	五月	五月	六月	八月	八月

鱸	コ ハ ゲ	鮪	鰯	鮫	ナ カ ラ	鰈	鯛	章魚	蟹	鰈	ハ 子	鱧
六月	七月	三月	三月	七月	七月	五月	六月	三月	十二月	三月	五月	七月
六月							七月	四月	四月	四月		
六月	八月	五月	四月	八月	八月	七月	八月	八月	四月	五月	七月	八月

兵庫縣

兵庫縣

第二款 生産場

章魚ハ其卵淡白色半透明ニシテ尤海底ニ沈没セル章魚
 壹或ハ貝壳等ニ産付シ爾后此所ニ生育ス東ニ見ル村調○
 鯛 魴 魚 ア イ ゴ ヤ ラ 鱈 魚 鰈 鱸 鰯 コ ハ ゲ 鮭 鯽 鱒 ハ 藻 ノ 生 立
タル所ニ群集シ卵ヲ藻ニ産附ス
本莊村下全シニ ○ 鱧 烏 賊
 花魚 鮫 雞 魚 鯛 鰯 鱒 鯉 鰻 魚 ハ 泥 中 ニ 産 付 ス

第四章 漁民

第一款 營業ノ景況

東二見村 西二見村 古宮村 本莊村 別府村
 維新後舊法弛廢ノ姿トナリ他方ヨリ来リテ有害ノ漁業ヲナスアリ又先年来不景氣打續キシ為メ魚價ハ諸物ト共ニ大ニ低落セルニヨリ非常ノ衰頽ヲ見ハセリ

高砂町

明治二年頃ハ漁業者一途ニ「チ又繩」或ハ「コチ網」「キ網」等ヲ營ミシカ爾后不漁ノ為メ他ノ漁業ヲ兼ネサルヲ得サルニ至レリ又漁者數漸次ニ増加スルヲ以テ弥々不漁トナリ遂ニ非常ノ衰頽ヲ見ハセリ

荒井村

本村ハ僅少ノ漁者ニシテ且兼業ナルヲ以テ從來盛衰

ナシ
 以上各地ノ概況ヲ記述セリ尚左表ヲ掲ケテ郡内一般ノ
 状ヲ示スヘシ

漁業概表

種別	曳網類 數 罾	刺網類 數 把	建網類 數 把	繰網類 數 罾	敷網類 數 罾	掩網類 數 罾	手釣類 數 本	繩釣類 數 本
東二見村	二		一〇四	一二五			七五〇	
西二見村			六四	一三〇			五〇〇	七
本莊村		六〇	一五〇	五八	一	七	三六四	一〇九二
古宮村				一四〇			六〇二	一三二六
別府村	一		五〇〇	一九	二	四	三〇四	九〇一
高砂町	四	五〇	一六〇	一三二	三	六	四〇〇	六八〇
荒井村			四〇			二八		
合計	七	一一〇	一〇一八	六〇四	六	八一	二九二〇	四〇〇六

又釣類 數 罾	笥籠類 數 罾	漁船 數 艘	漁民 數 人
	一二〇	八一	一八〇
一〇〇	一〇〇	六四	一三〇
四〇		二六	五六
九〇	一五〇	五五	八六
二二四	四〇	一四	一六
	六	一九四	三〇一
		七	一四
四五四	四一六	四四一	七八三

第二款 營業種別

漁業者ノ種別左ノ如シ

種別	東二見村	西二見村	本莊村	古宮村	別府村	高砂町	荒井村	合計
鰯魚、鱈魚、鯉魚、四艘張網漁者			一〇		一六	三〇		五六
鰯魚、打網漁者			七		一六	一〇	七	四〇
飯章魚、壺繩漁者	四二	七〇		六〇	八	六	二	一八六
鰯沖曳網漁者					一六	四〇		五六
鮭魚、建網漁者						二五	二	二七
鮭魚、流七網漁者						二五		二五
鮭魚、不リ網漁者						一六		一六
鮭魚、建網漁者							二	二
飯、建網漁者	六〇	一〇						七〇
飯、鮭、併繩漁者			五二			八		六〇

海鰻鱺拵繩漁者	雜魚手練網漁者	鱸拵繩漁者	鱸釣漁者
	一〇〇		
	一三〇		
		五二	
		八六	
一六		一六	一六
	九〇		
一六	三二〇	一五四	一六

又漁業ニ関スル營業者ノ種別ヲ擧クレハ左ノ如シ

種別	資本主		普通漁者	雇夫	
	他村	自村		他村	自村
東二見村			五一	一二九	
西二見村			五〇	八〇	
本莊村			二八	二八	一〇
古宮村			八六		
別府村			一六		
高砂町			三〇一		六〇
荒井村			一四		
合計			五四六	二三七	七〇

備考

資本主 魚問屋ニ於テ仕入金ト稱シ若干ノ金ヲ無
利足及無抵當ヲ以テ貸付ケ捕獲金ノ内ヲ以テ辨

償セシム此場合ニハ漁者ハ決シテ他へ販賣セサ
ルト定ノリ 本莊村調
査ニヨル

雇夫 漁期中普通漁者ノ役スルモノニシテ年中雇
アリ漁期中雇アリ年中雇ハ十二月末陰曆漁期中雇
ハ漁業ノ期節毎ニ雇入ルモノトス該雇人ハ沖行
人ト稱シ船頭ノ指揮ヲ受ケ漁業一切ノ雜事ニ使
役セラル雇人ノ數ハ漁事ノ難易ニヨリ差異アリ
ト虽尺コダ網ハ一疊ニ付二人トス給料ハ物價ノ
高低ニヨリ一樣ナラサルモ概シテ沖行人ハ一人
ニ付十五圓ニシテ食料ハ雇主之ヲ給ス又仕切分
ケト稱シテ當日漁獲金ノ内ヨリ網ノ使用料トシ
テ一割ヲ網主ニ控除シ其残りヲ四分シテ二分ヲ
網主ニ二分ヲ雇夫ニ名ニ分配ス又章魚壺繩漁手

繰網牡蛎網漁ノ雇夫給料モ子ケ網ニ合シ然レモ
 手繰網牡蛎網ニハ仕切分ケヲナスコアリ又流セ
 網建網漁業ノ雇夫給ハ総テ仕切分ケニシテ其法
 捕獲金ヲ五分シ三分ハ網主ニ二分ヲ雇夫ニ分配
 ス又鮫網漁業ノ雇夫ハ九人ニシテ給料ハ仕切分
 ケナリ其法捕獲金ノ三分三厘ヲ網主ニ控除シ残
 リ六分七厘ヲ更ニ十二分シテ漁船二艘網主一人
 雇夫九人合十二ケニ分配ス又追建網漁業ノ雇夫
 ハ二十七人ニシテ給料ハ仕切分ケナリ其法捕獲
 金ノ六分ヲ網及船主ニ残り四分ヲ更ニ二十九分
 シテ船頭ニ其二ヲ取り雇夫二十七人ニ各一分ヲ
 分配ス又地曳網漁業ノ雇夫ハ二十二人ニシテ給
 料仕切分ケトス其法捕獲金ノ五分ヲ船及網主ニ

取り残り五分ヲ更ニ二十四分シテ船頭ニ二分雇
 夫ニ一分ツ、ヲ分配スルノ例ナリ東ニ見ル村調

兵庫縣漁業慣行録卷之八終

兵庫縣